

414
A 2472



四号

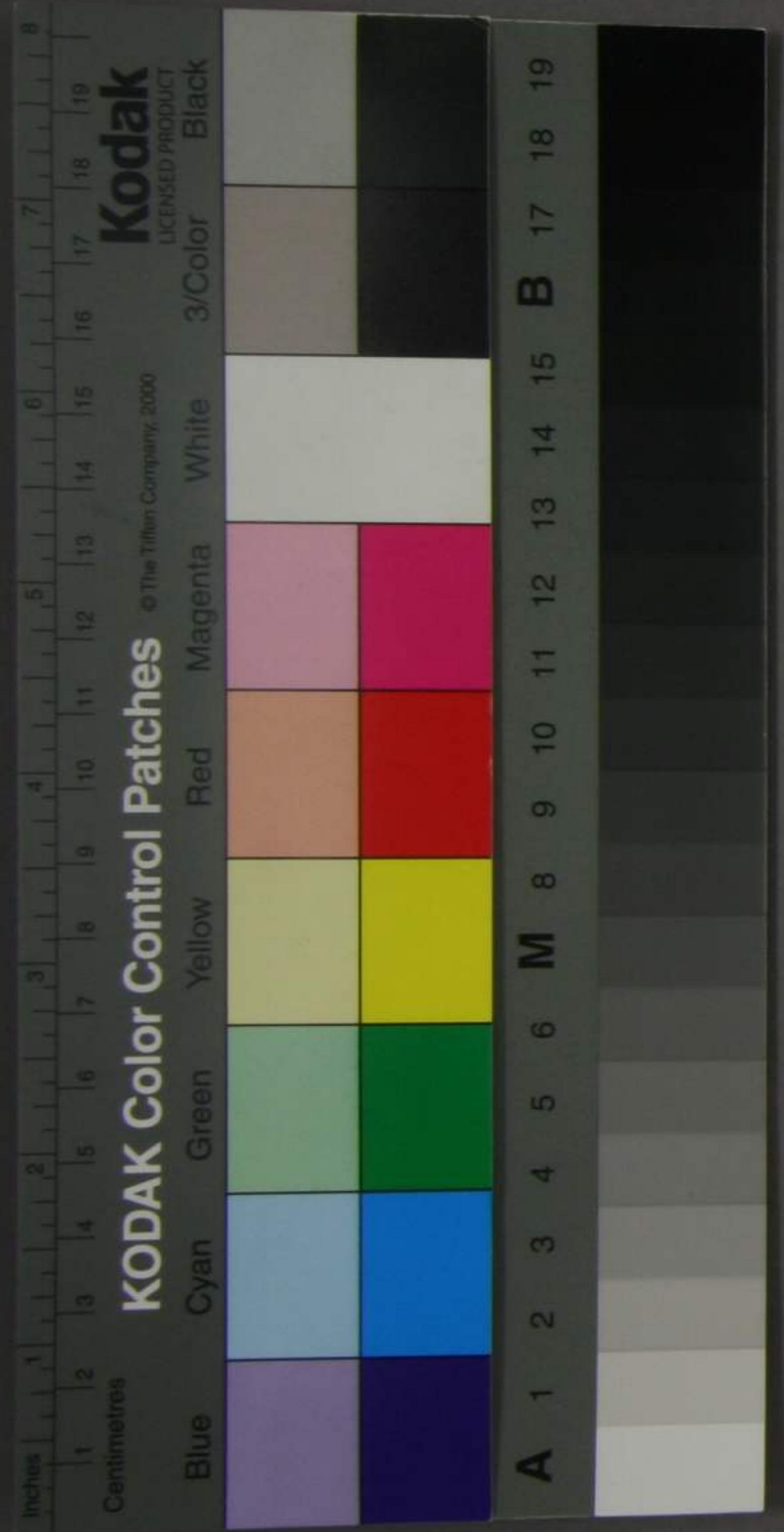
巴華釐亞國土地年貢償還債券ノ事

巴華釐亞國ニ於テハ千八百四十八年六月四日ノ法ヲ以テ
巴華釐亞族及ヒ領主ノ裁判ノ權ヲ解キ又土地ニ負荷セシ義
務其償金ヲ粟セシテ之ヲ解放シ或ハ年貢高ノ元金ヲ
償還シテ之ヲ解放セリ蓋シ年貢償還ノ債券ヲ製スル
是ヨリ初マレリ其方法ヲ左ニ説明ス

第一節

私有地及ヒ「スナツブツング」郷黨持地ニ若シ負荷セル義
務アリテ其償金ヲ要セス之ヲ解放スルノ理ナキ分ハ權
利ヲ有セルモノ、需要ニ隨ヒ銀行ニ於テ其權利ヲ讓受
ケ而シテ年貢高ヲ償金ニ換ヘ其高ノ二十倍ヲ元金トシ
此債券ヲ作り年四分ノ利子ヲ付シテ權利ヲ有セルモノ
ハ償還シ義務アルモノヨリハ其十八倍ノ分ヲ銀行ヘ還

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



納シ残り二倍ハ大政府ヨリ之ヲ出セリ

第二節

年貢償還ノ事務ハ國債償還銀行ニ於テ之ヲ執行スト雖
氏其金庫及ヒ會計ハ全ク異別シ而シテ該主務ノ官議院
ノ委員ト共ニ之ヲ管理セリ

第三節

銀行ニ於テ發行セシ債券支消ノ積金ハ義務アルモノ年
年ノ還納金及ヒ大政府ヨリ出ス所ノ金額ニアリ而シテ
其金額ハ義務アルモノ、請求ニ依リ一時ニ之ヲ還納シ
或ハ其金額ト利子ヲ年賦トシ年貢價金高十分ノ十ヲ納
ムルモノハ三十四年十分ノ九ヲ納ムルモノハ四十二年
ニ還納ス或ハ其金額ヲ還納セスシテ永年四分ノ利子ノ
ミヲ還納セリ然リト雖氏各自ノ便宜ニ隨ヒ時月ヲ問ス

シテ悉ク還納スルヲ得ルモノナリ而シテ年賦金及ヒ
其利子ハ法律上ニ於テ年貢同様ニ徵收シ得ヘキ權利ヲ
銀行ハ與タリ

第四節

權利ヲ有セルモノニ於テ其權利ヲ銀行ハ讓與セスシテ
義務アルモノヨリ年貢償還ヲ請求セシ分ハ其年貢元金
ニ當ル高ラ目的トシ先ツ年賦ノ法ヲ以テ豫メ其期限ヲ
定メ而シテ義務アルモノヨリ年貢高ノ幾分ツ、ヲ銀行
ハ納付セシメ即チ年貢高百分ノ二十八ヲ納ムルモノハ
三十四年トシ百分ノ十八ヲ納ムルモノハ四十二年トセ
リ而シテ期限終ル後ニ於テ銀行ヨリ其元金ヲ權利アル
モノハ償還スルモノトス故ニ此期限中ハ權利ヲ有セル
モノニ於テ其元金ノ利子ハ此利子恐ラニクニ當ルヘキ高ノ

万八千七百七十二「ゲルデン」我千四百二十五ナリ千八百五十六年七月十日、理財法ヲ以テ千八百六十一年九月三十日ヨリ八年貢償還ノ事請求スルヲ得サルモノトセリ

此債券ハ國債証書同様ノ位ヲ有セリ故ニ「フエールン」グ期滿得免「ア」モルチサチヨ「ン」盗難其他紛失ノ片政府ヘ報告シテ之ヲ廢棄シ其代ヲ請求スル「ト」ウ「イ」ニ「カ」ツチヨ「ン」紛失ノ債券他人ノ手ニ入リシヲ取戻「マ」ト」取扱ヒ法律上ニ於テ國債証書ト異ナル「ト」ナシ

撒遜國土地年貢償還ノ事

撒遜國ニ於テハ千八百三十二年三月十七日ノ法ヲ以テ土地年貢銀行ヲ起シ大藏省之ヲ管理セリ蓋シ年貢償還ノ債券ヲ製スル「ト」是ヨリ初「コ」レリ而シテ千八百三十四年一月一日ニ至リ皇帝委任ノ事務官「三人」ヲシテ其事務ヲ執行セシメ千八百五十六年四月一日ヨリ八年貢「ト」償還スル「ト」アルナシ

銀行ニ於テハ權利ヲ有セシモノ、年貢高ヲ元金ニ換ヘ其債券ヲ製シ年三分一「ト」即チ百圓ニ付三圓三十三分三厘三三ノ利子ヲ付シテ之ヲ償還シ或ハ現金ヲ以テ之ヲ償還セリ而シテ義務アルモノ「ト」ハ年賦トシテ元金高ノ利子四分「ト」ミ「ト」五十五年間ニ還納セシム故ニ其四分ノ利子高ト債券ノ利子三分「ト」三分一ノ高ト差引

残り三分二ノ金高ヲ以テ債券支出ノ積金トス〔債券支出
積金ハ國共債償還元高ノ一分或ハ五厘ナリ又或
ル國ニ於テハ四分三或ハ一分五厘或ハ二分ナルモア
リ故ニ之ヲ計算シテ年々元高ノ一分ヲ支消積金ニ納付
スルモノト見做シ又支消積金ニ納付スヘキ買戻シ債券
ノ利子三分ナル片ハ其元金ノ總高四十六年ト四十七年
ノ間ニ支消シ同断四分ナル片ハ四十二年五分ナル片ハ
三十六年ト三十七年ノ間ニ全ク支消シ終ルモノナリ而
シテ債券ノ種類ニ千印青色五有口印紫色百印黄色
五十印桃色二十五印綠色十二半クローレル印鼠色
ハ我々七十幾ノ六種ニ分テ年々四月一日十月一日西度
ニ抽籤法ヲ行ヒ元金總高一分ノ三分二ツ、ヲ逐年支消
シ而シテ次明ノ支消限日ニ至リ元金ト之ヲ交換ス千八

百五十九年以來、時價ヲ以テ之ヲ買戻ス、ヲ得タリ
此債券ハ國債証書同様政府之ヲ保証シ又銀行ノ經費不
足ヲ生センバ、政府之ヲ補充セリ而シテウインデアツ
チヨシ紛失、債券他人ノ手ニ入りシテ取戻ス、ノ事ハ
千八百四十八年二月八日ノ法ニ隨テ之ヲ執行シ、アエ
ルンヅ期滿得免及ヒアールモルチサチヨシ盗難其他紛失
ノキ政府へ報告シテ之ヲ廢棄シ其代ヲ請求スル、ノ事
ハ千八百三十二年三月十七日ノ法ヲ以テ國債証書同様
ノ取扱ヲナセリ

